



# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社 丸順  
 コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章  
 (氏名) 小高 光一  
 配当支払開始予定日 平成22年11月22日  
 TEL 0584-89-8181

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	21,900	17.8	1,158	—	933	—	467	—
22年3月期第2四半期	18,597	△21.1	△237	—	△472	—	△828	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	47.88	—
22年3月期第2四半期	△84.83	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	35,046	8,207	16.2	580.69
22年3月期	37,349	7,983	14.9	568.64

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,671百万円 22年3月期 5,553百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	2.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期末の配当につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどから、現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.1	1,900	100.0	1,500	224.9	600	—	61.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	9,771,000株	22年3月期	9,771,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	4,818株	22年3月期	4,739株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	9,766,218株	22年3月期2Q	9,766,370株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済はエコカー補助金や家電のエコポイント等の経済対策により、景気は持ち直しを続けておりましたが、円高の進行、欧州の財政問題や米国の景気減速などの懸案材料が多く、先行き不透明感が強まってまいりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内ではエコカー補助金終了前の需要増もあり、販売は好調に推移いたしました。また、海外では、中国において景気刺激策の効果もあり引き続き販売が好調であるほか、その他アジア地域の需要も順調に回復をしております。一方、国内における今後の生産は、各種施策の終了や円高の進行等により当面低水準での推移になると予想されております。

このような状況のもと、当社グループは、前年度からの取組みであるROA重視の抜本的経営改革を徹底して推進することで「ボトム生産体質」を構築し、今期末の業績黒字化によるV字回復を目指し各種施策に取組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,900百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は1,158百万円（前年同四半期は237百万円の営業損失）、経常利益は933百万円（前年同四半期は472百万円の経常損失）、四半期純利益は467百万円（前年同四半期は828百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、主要顧客である自動車メーカーの増産等により、主力の自動車用プレス部品事業が堅調に推移したほか、金型・溶接設備等の受注増加により、エンジニアリング事業についても好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は9,070百万円、経常利益は38百万円となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、自動車の販売・輸出が増加するなど景気は順調に回復しており、当社の主要顧客において増産が行われたため自動車用プレス部品の売上が伸び、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,794百万円、経常利益は186百万円となりました。

#### (広州)

広州においては、中国全体の経済環境の発展に連動する形で自動車需要も増加しております。労働争議による主要顧客の稼働日の減少や人件費の上昇等はあったものの、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は5,737百万円、経常利益は635百万円となりました。

#### (武漢)

武漢においては、中国全体の経済環境の発展に連動する形で自動車需要も増加しており、当社の主要顧客において増産が行われたため自動車用プレス部品の売上が伸び、生産活動は好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,932百万円、経常利益は107百万円となりました。

#### (四輪販売)

四輪販売においては、エコカー補助金終了前の需要増によるほか、積極的な拡販活動の展開により、新車販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,510百万円、経常利益は50百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間末における資産総額は、35,046百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,303百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が161百万円減少、受取手形及び売掛金が323百万円減少、仕掛品が10百万円減少、有形固定資産が1,624百万円減少、投資その他の資産が163百万円減少したことが要因であります。

負債総額は26,839百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,526百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が331百万円増加、短期借入金が1,489百万円減少、長期借入金が686百万円減少、リース債務が213百万円減少したことが要因であります。

純資産は8,207百万円となり、前連結会計年度末と比較し、223百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が448百万円増加、為替換算調整勘定が206百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループでは、低成長下でも利益が創出できる「ボトム生産体質」の構築を目指し、抜本的経営改革を徹底して推進した結果、業績が予想を上回る見通しとなりましたので、平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成22年10月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1百万円、税金等調整前四半期純利益は39百万円減少しております。

#### ② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,493	1,654
受取手形及び売掛金	6,725	7,049
商品及び製品	341	393
仕掛品	923	934
原材料及び貯蔵品	712	597
その他	984	1,035
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	11,175	11,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,772	6,032
機械装置及び運搬具(純額)	5,801	6,233
工具、器具及び備品(純額)	4,908	5,446
土地	1,958	1,957
リース資産(純額)	1,339	1,834
建設仮勘定	1,951	1,851
有形固定資産合計	21,732	23,357
無形固定資産	146	176
投資その他の資産		
その他	2,009	2,172
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	1,992	2,155
固定資産合計	23,871	25,688
資産合計	35,046	37,349

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,932	5,600
短期借入金	8,935	10,425
リース債務	380	399
未払法人税等	70	104
引当金	228	232
その他	1,426	1,915
流動負債合計	16,973	18,678
固定負債		
長期借入金	7,778	8,465
リース債務	824	1,018
退職給付引当金	699	682
役員退職慰労引当金	85	84
資産除去債務	80	—
負ののれん	31	36
その他	365	400
固定負債合計	9,866	10,688
負債合計	26,839	29,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,167	3,719
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,138	5,690
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	363	487
為替換算調整勘定	△831	△624
評価・換算差額等合計	△467	△137
少数株主持分	2,535	2,430
純資産合計	8,207	7,983
負債純資産合計	35,046	37,349



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	18,597	21,900
売上原価	17,164	18,953
売上総利益	1,432	2,946
販売費及び一般管理費	1,669	1,788
営業利益又は営業損失(△)	△237	1,158
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	7	10
為替差益	28	—
助成金収入	30	—
その他	18	28
営業外収益合計	89	41
営業外費用		
支払利息	317	233
為替差損	—	28
その他	7	4
営業外費用合計	324	266
経常利益又は経常損失(△)	△472	933
特別利益		
固定資産売却益	10	11
その他	0	0
特別利益合計	10	11
特別損失		
固定資産売却損	5	36
固定資産廃棄損	74	11
減損損失	6	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	38
投資有価証券評価損	136	4
割増退職金	216	—
その他	0	4
特別損失合計	439	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△901	847
法人税等	△15	191
少数株主損益調整前四半期純利益	—	655
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△57	188
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△828	467

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	プレス成形 部品事業	金型事業	自動車 販売事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,991	391	1,214	18,597	—	18,597
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	37	3	54	(54)	—
計	17,005	428	1,217	18,652	(54)	18,597
営業利益又は営業損失(△)	68	19	6	93	(331)	△237

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品または事業の内容

(1) プレス成形部品事業…… 車体プレス部品、精密プレス部品、樹脂製品、試作品その他

(2) 金型事業…………… 金型、治具・検査具

(3) 自動車販売事業…………… 自動車の販売・修理

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,201	9,395	18,597	—	18,597
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	676	9	686	(686)	—
計	9,878	9,405	19,283	(686)	18,597
営業利益又は営業損失(△)	202	△25	177	(414)	△237

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

アジア……………タイ王国、中華人民共和国

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	9,433	9,433
II 連結売上高(百万円)	—	18,597
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	50.7	50.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ王国、中華人民共和国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営の資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、自動車販売事業である株式会社ホンダ四輪販売丸順を除き、主に車体プレス部品及び金型等の製造販売をしており、各子会社は製品の製造方法及び製造過程は概ね類似しているものの、それぞれが固有の顧客を有する独立した経営単位であります。国内においては当社が、タイにおいてはタイ・マルジュン社が、中国広州地区においては広州丸順汽车配件有限公司が、中国武漢地区においては武漢丸順汽车配件有限公司がそれぞれ担当しており、会社ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は会社別を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、会社別に「丸順」(当社)、「タイ」(タイ・マルジュン社)、「広州」(広州丸順汽车配件有限公司)、「武漢」(武漢丸順汽车配件有限公司)、「四輪販売」(株式会社ホンダ四輪販売丸順)の5つを報告セグメントとしております。

「丸順」「タイ」「広州」「武漢」は、車体プレス部品及び金型等の製造販売をしております。「四輪販売」は、自動車の販売及び修理をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,203	4,729	5,541	1,924	1,501	21,900
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	866	65	196	7	8	1,144
計	9,070	4,794	5,737	1,932	1,510	23,045
セグメント利益	38	186	635	107	50	1,017

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,017
セグメント間取引消去	△77
その他の調整額	△7
四半期連結損益計算書の経常利益	933

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメント「丸順」において、第1四半期連結会計期間に試作部品製作用の亜鉛合金金型を製作する工場の建物で使用が見込まれなくなった遊休資産について、今後の利用頻度は僅少と見込まれ、正味売却価額が著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、第1四半期連結会計期間において2百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。